

おとし

お



し

い



い



顔



おとしの家

TEKUTEKUMINNANDIE

〒617-0825 京都市長岡京市一文橋2丁目25-26

でんわ 電話 : 075 - 957 - 5350 / メール : tekuteku@sunny.ocn.ne.jp



りじちょう 理事長 あいさつ 挨拶

りじちょう とみしま くにお
理事長 富島 邦雄

今年も桜の便りが聞かれ、厳しかった冬から希望あふれた春へと季節が移って行きます。「てくてく」では、今年嬉しいことに3名の新しい職員が入ってきます。4月1日に入所式を行い、職員として皆様の支援に当たります。希望にあふれた職員を暖かく迎え、早く職場に慣れてもらう努力をしてください。新入職員は「てくてく」の11年に亘って積み上げられてきた良い伝統と文化を学ぶ大切さと、同時に新しい感覚でこれまで積み上げられてきた悪い習慣や態度を敏感に感じ取り、それらに立ち向かう情熱を持ち続けてください。

昨年度は、「てくてく」にとって大きな節目で、「みんなの家」が4月に完成し、快適な職場環境の下で事務の仕事が可能になりました。同時にショートステイ事業を8月から開始しました。利用されるメンバーの数は月毎に増加して、その機能を多に発揮しています。これからグループホームを目指す。とりあえず宿泊体験をする。お友達と一緒に泊まりたいなど多岐に亘っています。そして宿泊機能と受け入れるマンパワーがあうことで行政からの依頼の宿泊者もあり、「障害者虐待防止法」による虐待時の緊急避難場所にも指定されています。

「みんなの家」を拠点に、いも掘りでのバザーで多くの方が集いました。そしてサイクリングクラブでは、出発とゴールで盛り上がりました。又メンバー交流会では喫茶店やカレーレストランに変身しています。今後どんな風に使われ交流の輪が広がるのか楽しみにしています。

最後に、新入職員の所でも触れましたが、11年の歴史を重ねてきたことで、皆様に多に

「てくてく」らしさを評価されているところが
あり誇りに思っています。一方で設立時は
職員やヘルパー、世話人の数が少なく
コミュニケーションも円滑で諸事項が徹底で
きていました。しかし世帯が大きくなることで
組織が巧く機能せず、メンバー、家族、世話人や
ヘルパーの意思疎通が円滑にいてないところ
も多く見られます。

平成26年度(2014年度)はあらゆる面から
これまでやってきたことを謙虚に見直し、より
良い「てくてく」を創り上げたいと思っています。
そのためにも皆様からの忌憚のないご
意見やより建設的な提言をお待ちしています。





ほんぶちょうあいさつ 本部長挨拶

じぎょうとうかつほんぶ ほんぶちょう おせじゅんじ
事業統括本部 本部長 尾瀬順次

春になりました。「てくてく」が「みんなの家」に引っ越して、早1年。多くの方々からのご支援・ご協力のおかげで、新しい年度を迎えることができます。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

さて、この4月から「障害者総合支援法」による制度として、「ケアホームのグループホームへの一元化」や「重度訪問介護の対象者の拡大」など、新たに始まる（変わる）ものがいくつかあります。これらによって、「てくてく」の事業運営に影響が及ぶことは確かです。しかし制度がどのように変わろうとも、私たちが支援の中で大切にしなければならないことは何も変わるものではありません。

振り返ってみれば、今「みんなの家」がある一文橋に「どんぐりの家」が立ち上がったのが23年前。当時、障がいがある人の「地域生活」を支えるような制度は、ほぼ皆無でした。その数年後、「ガイドヘルパー派遣てくてく」が動き出した頃も然り。今の「てくてく」がグループホームの設立を自指して動きを始めた頃でさえも、支援費制度がスタートする以前…つまり、やはり制度的な裏打ちがほとんど無い中で、「それでも必要なことは自分たちの手で何とかつってやっていこう」という思いから、メンバーを中心に家族や支援する人たちが集まり、出来ることから実践し、一つ一つ実績として積み上げてきたことが「今」につながっている…。「制度がなければ何もできない」という考えに囚われていたら、「てくてくの今」はなかったのです。

制度は初めから準備されていたのではなく、また少しずつ整えられてきたとは言え、それだけで障がいのある人の暮らしのすべてを支えられるわけではありません。ところが私たちは今、なんとなく「今ある制度でできることがすべて」だと思っていないでしょうか？「制度ではできない」ことが「何もできない」こととイコールだと思い込み、本来「望む暮らしの実現」のための制度であるべきはさすが、「制度に合わせて生活する」という、文字通り本末転倒な事態に陥ってしまっていることはないでしょうか？もしそうだとしたら、それは大きな間違いです。

これまで「てくてく」が地域で創り出して来たものや果たしてきた役割を考えた時、これから先も単に今ある制度の範囲内だけで、事業としてあるいは業務として保障されたことだけをやって行けば良いのでは決してないということを、今改めて強調しておきたいと思います。

では「てくてく」に関わる一人ひとりが、これから何をどうしていくべきなのか…その「答」もまた誰かが準備してくれるものでもなく、「てくてく」に集うすべての人たちが、思いを集め、みんなで考え、行動・実践を通して見出していかなければならないものなのです。

この地に「てくてく」が誕生したのは、そもそも何故だったのか…その原点に今一度立ち返って考えることが、「てくてく」の「未来」を切り拓いていく上でとても大切なことなのではないかと思っています。



「てくてく」を未来へつなぐ

とうかつかんりしゃ もりたもと
統括管理者 森田元

平成26年度（3月31日現在）のてくてくは正規職員9名、非常勤職員2名、事務員3名の14人体制です。新職員を3名迎え、先輩職員は成長の機会を与えられました。この機会を最大限に生かして、もっとメンバーさんのおもいとことん寄り添うことができる環境、もっといきいきと夢をもって働くことのできる職場に成長させていきます。どんな状況でも「てくてくの自立生活支援」はまだまだ力強く根を伸ばします。

みんなちがって、みんないい

違いは個性であり特性であること、違いを排除するのではなく、支え合うこと

平成26年は初心に立ち返り「感謝」と「輪」をテーマとします。

メンバーの皆さん

ご家族の皆さん

登録スタッフの皆さん

一人一人の思いに向き合うこと

皆さんに対して、

当たり前が出来ること

次年度は大きく成長します

てくてくの歩んできた道を

着実に未来に繋いでいきます。



おくだよう
奥田陽
です！



くさがわたつや
草川達也
です！



たかはしゆうこ
高橋優子
です！





ゆめ むね しんじんしょくいんしょうかい 「夢を胸に」 新人職員紹介

*** 奥田 陽 ***

昨年度まで、てくてくのケアホームの世話人や登録ヘルパーとして働かせていただきました。

今年度から職員になります。メンバーの皆様やご家族の皆様の生活を支える仕事にやりがいを感じております。

てくてくを取り巻くたくさんの方々にお教えいただき、早く一人前の職員になれるよう、がんばって行きたいと思います。よろしくお祈いします。

*** 草川達也 ***

はじめまして！草川達也と申します。3月に京都府立大学を卒業し、4月から新職員としてお世話になることになりました。

大学生活の4年間では福祉、心理学などを中心に学び、ボランティアで自閉症の子どもたちの余暇支援をしてきました。また、身体を動かすことが好きで、特にサッカーは小さいころからやっています。

てくてくには大学生のころからあっとホームやガイヘルなどを中心にお世話になってきました。その中で、メンバーの皆さん、親御さん、ヘルパーさん、職員の方々のつながりの深さや、みなさんがすごく楽しんで過ごされていることにとても感動しました。そして、この「てくてく」という場所をもっともっと良い場所に出来るように一生懸命お手伝いできたらと思っています。

まだまだ未熟なところばかりでご迷惑もおかけすると思いますが、これからどうぞよろしくお祈いいたします。

*** 高橋 優子 ***

4月からてくてくで職員をさせて頂くことになりました、高橋優子です。22年間長岡京育ちの長岡っ子です。色々な事に興味があり、チャレンジするのが大好きです！…が、たまに猪突猛進になってしまう所が少しネックです。(笑) 大学時代は、「色々な事にチャレンジしたい！社会のために自分が出来ることをとことんしたい！」という思いで、NPOの学生団体に所属し、国際協力を中心に、環境保護、地域活性化、災害救援を(勉強そっちのけで…) 国内国外問わず行っている毎日でした。

そして、ご縁でこの7月からてくてくの学生スタッフをさせて頂き、メンバーの皆さん、ご家族の方々、そしてスタッフの方々と共にして行く中で、「もっとこの場を共にしていきたい。」と思いました。そして、今それが叶い、とても光栄に思います。まだまだ未熟者で至らない点もあるかと思いますが、これからみなさんと笑顔あふれる毎日を共に創って行けたらな、と思っています。どうぞよろしくお祈い致します！



「あっとホーム」と共に歩んで

とも あゆ
あっとホーム事業長 中矢裕紀子

みなさん、^{しんねんど}新年度ですね。

^{こんねんど}今年度は^{せいど}制度が大きく^{おお}変わり、^{じぎょう}事業としては^{きび}厳しい^{じだい}時代に入ります。

でも^{めんばー}メンバーの^{みな}皆さんの^{せいかつ}生活は^か変わらず^{つづ}続いていきます。

^{ひつよう}必要な^{しえん}支援も^か変わりません。いえますます^{ゆた}豊かな^{しえん}支援が^{もと}求められるでしょう。

^{わたし}私たちは、^{せいど}制度が変わっても、^か変わりなく^{いちばんだいじ}一番大事な^{こと}こと

^{めんばー}メンバーの^{みな}皆さんの^{せいかつ}生活が^あ当たり^{まえ}前に^{かがや}輝くよう

^{ひとり}一人ひとりに^{ひつよう}必要な^{しえん}支援を^{つね}常につかんでいる^{べき}べきです。

さてあっとホームも^ほ長い^むところで^{ねん}10年を^こ越えました。

^{せいかつ}みんなの^{ちいき}生活も^{ねづ}地域に^{あらた}根付き、^{かのうせい}新たな^{ひろ}可能性が^{ひろ}広がっています。

そして、^{あら}新たな^{めんばー}メンバーの^{みな}皆さんから^{こえ}「ぼくも」「わたしも」という^{こえ}声があがっています。

とっても^{うれ}嬉しく^{おも}思います。

あっとホームはそれぞれの^{じんせい}人生における^{せんたくし}ひとつの^{せんたくし}選択肢ではあります。

でも^め目の^{まえ}前に^{せんたくし}その^あ選択肢が^{まえ}当たり^{そんざい}前に存在している

これはあっとホームの^ほメンバーの^{めんばー}皆

^{ひとり}さん一人ひとりと、^{さほ}サポートし^{つづ}続けて

^{せわにん}きた^{ちゅうしん}世話人さんたちが^{ちゅうしん}中心になって

^う生み出した^だもの^{おも}だと思っています。

これからも^{せいかつ}みんなの^あ生活は^{まえ}当たり^{まえ}前に

^{つづ}続いて^いいきます。ふつうに^い生きるっ

て^{わたし}なんだろう、^{つね}私たちは^{じぶん}常に^{じぶん}自分の

^{しえん}支援を^{かえ}振り^{かえ}返りながら、^{めんばー}メンバーの^{みな}皆

さんを^ま真ん中^{なか}に^{しえん}支援を^{しえん}させていただ

きたいと^{かんが}考えています。





は っ く す ま い る び よ り 「あっとハック」スマイル日和

は っ く じ ぎ ょう ち ょう 長
あっとハック事業長
お かい の ぶ ゆ き 岡井伸行

は る こ こ ち す き こ う
春風が心地よく過ごしやすい気候になってきましたね。

さ く ね ん ど た い へ ん せ わ
昨年度は大変お世話になりありがとうございました。

さ て わ く わ く と き ど き す た ー と は ん と し す
さて、ワクワク&ドキドキでスタートした『あっとハックいちもんばし』も半年が過ぎまし

た は し か ん き ょう し ゅ く は く き ん ち ょう す た っ ぷ い
た。初めての環境での宿泊。緊張はありつつも、スタッフと『こんなところ行ってきてん！』

と 写 真 を 見 な が ら 談 笑 し た り 調 理 ス タ ッ フ と 一 緒 に 夕 食 を プ ロ デ ュ ー ス し た り と 回 を
し ゃ し ん み だ ん じ ょ う ち ょ う り す た っ ぷ い っ し ゃ ゆ う し ゃ く ぶ ろ で ゆ ー す か い

重ね過ごしの中でたくさんのスマイルを見せてくれるメンバーさん。

そ して す ゅ う め い す て き か ん せ い が く せ い す た っ ぷ し え ん は い い ろ
そして、まだ数名ではありますが素敵な感性の学生スタッフさんも、支援に入り、色んな

し げ き も ら っ た り あ た え た り と す こ か ん け い き す き
刺激をもらったり与えたりと、少しずついい関係が築けて来ているのではないかと感じて

います。

あ ま え き ー わ ー ど こ ん こ た い せ つ た ん き に ゆ う し ゃ り ょ う な か
“当たり前”のキーワードは今後も大切にしながら、短期入所を利用していただく中で“

は な り ょ う り つ く と と ま れ た こ と” そ の 一 つ ひ と つ の 出 来 事 の 積 み 重 ね が
話したこと、料理を作ったこと、泊まれたこと”その一つひとつの出来事の積み重ねが

め ん ば ー み な す た っ ぷ な ん か た ち し し ん つ な
メンバーの皆さん、そしてスタッフにとっても何らかの形で“自信に繋がる”そんな『あ

と っ と ハ ッ ク』 で あ り た い な と 思 い ま す 。 今 年 度 も よ ろ し く お 願 い し ま す 。





「にこりん」新年度挨拶

しぎょうちょう おかもとよしとか
にこりん事業長 岡本義隆

しゅんよう こう みなさま ますます けんしょう よろこ もう あ
春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さくねんど たいへん せわ
昨年度は大変お世話になり、ありがとうございました。

かたいあいさつ しんねんど はじ
硬い挨拶からはじめましたが、いよいよ新年度が始まります。

こんねんど いっそう たの しえん めざ
今年度はより一層、みんなが楽しめる支援を目指していきます。

さいきん あたた す ごしやすい ひ ふ
さて、最近では暖かくなり、過ごしやすい日が増えてきました。

がいへる いろいろ ところ たの きせつ
ガイヘルでも色々な所で楽しめる季節です。

めんばー みな い
メンバーの皆さんは、どこに行きたいですか？

やま うみなどしぜん かん いや くうかん ういん どうしよっぴんぐ しょくじ みりょく まち
山や海等自然を感じる癒しの空間、ウィンドウショッピングやおいしい食事が魅力の街、

さんか たの まつ いべんと かすおお ばしょ
また、参加して楽しめるお祭りやイベントなど、数多くの場所がありますね。

いろいろ ばしょ い たいけん えがお で かつどう
色々な場所に行き、たくさんの体験をして、いい笑顔が出る活動をしていきましょう。

めんばー みな へる ばー みな たの じかん たいせつ
メンバーの皆さんもヘルパーの皆さんも楽しめる時間を大切にしていきます。

こんねんど よろ ねが いた
今年度も宜しくお願い致します。





た の し く いこう
LETS HAVE FUN!! 「コロぼっくる」

たいちょう わたなべあゆみ
コロぼっくる隊長 渡辺歩



さくねんど あこが か ん え しつげん
昨年度、みんながずっと憧れていたカフェが実現できました。

みんなの きょうりやく たの き も だいせいこう おも
協力の協力と楽しむ気持ちのおかげで大成功だったのではないかと思います。

ほか りょうり さいくりんぐ まらそん かつどう
他にも、料理・サイクリング・マラソン…とたくさんの活動ができたのはみなさんのおかげです。本当にありがとうございました！

こんねんど ころ あそ わら おも
さて、今年度のコロぼっくるもたくさん遊んで、たくさん笑いあいたいと思います。

めんばー みな たいせつ おも だいいち
メンバーの皆さんひとりひとりの大切な「想い」を第一に

ぼらんていあ かぞく しょくいん
ボランティアさんも、ご家族も、職員も、

みんなが いっしょ たの わら
みんなと一緒に楽しく笑いあえる

ころ ばしょ おも
コロぼっくるをそんな場所にしたいと思っています。

「そんなことできないんじゃない？」と思うようなことも、

「どうやったらできるかな？」とみんなで考えて

いっほいっほゆめ む あゆ
一歩一歩夢に向かって歩いていきたいですね。

こんねんど
今年度のコロぼっくる

あいことば れっつ は ぶ ん あん たの
合言葉は「Let's have fun!」(楽しくいこう！)

みんなでおも わら あ あそ
みんなで思いっきり笑い合って、たくさん遊びましょう♪



しえん だいじ こと 支援で大事にしている事

あっとホーム翔・ジャンプホーム長 しばやまたけひろ 柴山岳博



しえん かん つね ところ こと しっぱい せいこう すべ ことから きずな
支援に関して常に心にとどめている事ですが、失敗も成功も全ての事柄を絆ととらえ
とも かつどう こと
て共に活動したいという事です。

ひと かつどう へる ぶ どうぜんしえんしゃ めんばー みな たの じこ な
ある一つの活動、ヘルプで当然支援者はメンバーの皆さんが楽しく事故の無いように
ちゅうい かつどう と く こと
注意しながら活動に取り組んでいます。もちろんトラブルは無いに越した事はありません。

しかし、その中でもあまりメンバーの皆さんに楽しんでもらえなかった活動や怪我をし
てしまうということだってあり得ます。

そんな時に次回から注意する事はもちろんのことですが、しっぱい とらぶる おそれてかつどう
の幅が狭くなってしまわない様にしないとイケません。かつどう せいかつ へる ぶ なか
トラブルは常に起こりえるものです。その起こったトラブルをメンバーの皆さんやご家族、
た しえんしゃ みなさま はなし はな あ ないよう あとばいす じぶん なか せいり りかい
他の支援者の皆様と話をし、その話し合った内容、アドバイスを自分の中で整理して理解
を深めていって次回からの活動に生かしていく事がその後の 絆 を深めていく過程でとて
たいせつ ことから かんが
も大切な事柄だと考えています。

てくてくて繋がった「ご縁」。メンバーの皆さん個人個人の事、しえん ないようなど まわ
しえんしゃ かぞく ちよくせつはな あ きずな ぶか
支援者、ご家族と直接話し合いながら絆を深めていって、より素敵な信頼関係を作りそ
ひと それぞれにあ しえん ていきょう おも
人それぞれに合った支援を提供できればと思っています。

どうか今年度もよろしくお願ひいたします。



「てくてく後援会」

こうえんかい ちやう ねむら く み
後援会会長 米村久美

NPO法人てくてくは、乙訓地域を中心にして、しょうがいのあるメンバーたちの生活をサポートしています。「だれもが生まれ育った地域でいきいきと自分らしく暮らすことのできる街づくり」を目指し、常にメンバーの視点に立ち、先駆的かつユニークな活動を展開しています。

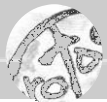
こうしたNPO法人てくてくの理念に賛同し、「あっとホーム」「にこりん」「コロぼっくる」「あっとハック」の4つの事業・活動に対し、金銭的・人的な後援サポートを行う為、また今後てくてくの夢の実現に向けて共に運動していきます。

この趣旨をご理解の上、ご賛同いただき、よろしくお力添えをお願い致します。

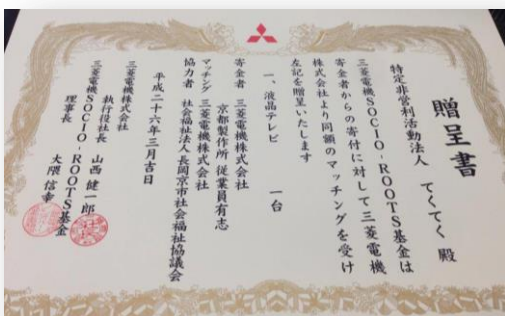
こじんかいいん 1口：1000円 1口以上
だんたいかいいん 1口：2000円 1口以上

となっております。

ご賛同いただける方は会長米村(075-957-4541)まで直接ご連絡ください。



「液晶テレビをいただきました」



三菱電機SOCIO-ROOTS基金様より、液晶テレビをご寄付いただきました。この基金は三菱電機の社員有志の方からのご寄付に対し、会社が同額を拠出することによって、地域の福祉事業所へご寄付をいただけるというものです。テレビは「みんなの家」一階、ショートステイの居室に設置して、早速使わせていただいています。これからも大切に使わせていただきたいと思います。

ご寄付いただいた三菱電機の皆様、ご紹介いただいた長岡京市社会福祉協議会の皆様、本当にありがとうございました。



ほうじん 「NPO法人てくてく」 がいよう 概要

ほうじん NPO法人てくてくは平成14年に法人認可され、約11年間の活動を行ってきました。
「だれもが う まれそだ ちいき じぶん く まち
りねん ひと じりつせいかつしえん と く
理念に、しょうがいのある人の自立生活支援に取り組んでいます。

ほうじん NPO法人てくてく ほうじんがいよう 法人概要 (2013年10月1日現在)

えんかく 沿革	へいせい ねん がつ にち ほうじんせつりつ じむしょ ながおきょうしいのうち 平成14年11月25日 法人設立 事務所 長岡京市井ノ内 へいせい ねん がつ じむしょ ながおきょうしいちもんばし いてん 平成16年4月 事務所を長岡京市一文橋へ移転 へいせい ねん がつ じむしょ ながおきょうしながおか ちようめ いてん 平成19年3月 事務所を長岡京市長岡3丁目へ移転 へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ いてん かいせつ じむしょ いてん 平成25年4月 「てくてく『みんなの家』」開設 事務所を移転
じっしじぎょう かつどう 実施事業・活動	きようどうせいかつかいご きようどうせいかつえんじよ ○あっとホーム（共同生活介護・共同生活援助） *あっとホームどんぐり（長岡京市井ノ内）H15年4月 5名 *あっとホームジャンプ（大山崎町大山崎高麗田）H16年4月 4名 *あっとホームつばさ（向日市上植野町）H17年3月 4名 *あっとホーム翔（長岡京市今里川原）H17年4月 4名 *あっとホームたんぼぼ城の里（長岡京市城の里）H23年4月 5名 ○にこりん（居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援）H15年4月 ○あっとハック（短期入所…あっとホームたんぼぼ城の里併設）H23年4月 ○あっとハックいちもんばし（短期入所）H25年7月 ◎地域力活性隊「コロぼっくる」（みんなの交流会・クラブ活動等）
しよくいんすう 職員数	めい 14名
どうろく すう 登録スタッフ数	やく めい せわにん 約60名（世話人、ヘルパー、ボランティア）
りようしゃすう 利用者数	やく めい 約80名
サービス対象地域	きょうとふおとくにちいき ながおきょうし むこうし おおやまざきちよう きょうとしかつらがわせいがんちいき 京都府乙訓地域（長岡京市・向日市・大山崎町）、京都市桂川西岸地域
れんらくさき 連絡先	でんわ 電話・Fax 075-957-5350 E-mail tekuteku@sunny.ocn.ne.jp
ホームページ	http://www15.ocn.ne.jp/~tekuteku/

しんきよてん 新拠点「てくてく『みんなの家』」

○〒617-0825 きょうとふながおきょうしいちもんばし ちようめ
京都府長岡京市一文橋2丁目25-26

